

## 令和3年度 福島県高等学校新人体育大会バスケットボール競技

男子決勝リーグ

クルーチーフ 齋藤文弥  
1stアンパイア 近内正幸  
2ndアンパイア 山口優太郎

福島東稜  
(県北)

72



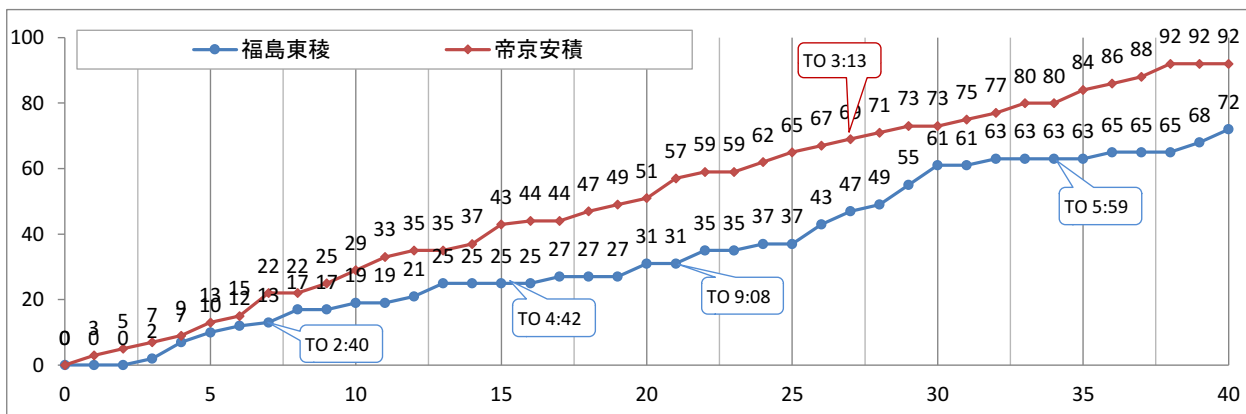
19	—	29
12	—	22
30	—	22
11	—	19
—	—	—

92



帝京安積  
(県南)

No. 4A2    日時: 2022年1月16日(日) 12:00    会場: 宝来屋郡山総合体育館



福島東稜

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
1	* 佐藤義宗 (C)	9	0	3	3	2
2	小原智尋	-	-	-	-	-
5	五十嵐太陽	-	-	-	-	-
8	青山士道	0	0	0	0	0
11	佐藤凌駕	0	0	0	0	0
13	佐藤獅恩	12	2	3	0	1
15	* 名木哲真	0	0	0	0	0
18	郡司堅	17	1	5	4	4
22	井上航大	0	0	0	0	0
23	岩本隼祐	1	0	0	1	4
24	佐藤亮輔	0	0	0	0	0
33	* 大石葵也	24	5	3	3	1
55	* 椎名隆人	5	0	1	3	3
75	* 石河優平	4	0	2	0	2
88	猪狩陽	0	0	0	0	1
コーチ	小田島 誠	/	/	/	/	0
合計		72	8	17	14	18

帝京安積

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 相原翔 (C)	13	1	5	0	3
5	* 田母神陽大	7	0	0	7	2
6	* 緑川知也	15	0	5	5	5
7	大栗拓真	17	1	7	0	2
8	渡辺一護	0	0	0	0	0
9	佐久間桜寿	2	0	1	0	2
10	* 豊崎理道	12	0	6	0	1
11	押山悠大	1	0	0	1	0
12	早坂玲二	18	0	7	4	3
13	安田尚輝	-	-	-	-	-
14	菅野陸	7	0	3	1	1
15	高木怜生	0	0	0	0	0
16	今泉裕都	0	0	0	0	0
17	白岩優斗	-	-	-	-	-
18	* 鈴木響	0	0	0	0	0
コーチ	榎田英行	/	/	/	/	0
合計		92	2	34	18	19

\*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

\*E...エントリー変更

### 戦評

第1Q 両チームオールコートマンツーマンディフェンスでスタート。試合開始すぐに、帝#4の3Pで先制点。その後も#14のドライブを中心に得点を重ねていく。東稜も#18や#13のスティールからレイアップで応戦し、2:40に取ったタイムアウトで流れを変えようとするも19-29で1Q終了。

第2Q 帝京がオールコートマンツーマンから相手のミス誘い#7の併せや#10の粘り強いゴール下で得点を重ねる。東稜も#33のジャンプシュートや#1のドライブで得点を重ねるも得点は縮まらず。東稜が4:42に取ったタイムアウト後にダブルチームでトラップを仕掛け帝京にミスさせるも得点になかなか繋がらず、前半31-51で終了。

第3Q 両チームとも前半と同じディフェンスでスタート。帝京#4の速攻レイアップからゲームが始まる。その後も帝京の速攻が続く9:08が経過したところでたまたま東稜タイムアウト。東稜はオールコートでボールマンにダブルチームに行くなど激しいディフェンスを仕掛けていく。徐々に東稜のトラップが成功し、東稜#33の3Pが入り始め帝京もタイムアウト。しかし流れは変わらず3Q終了間際に東稜#33が3Pのタフショットを決め、61-73と得点を縮めて終了。

第4Q 東稜#18が4つ目のファウルでメンバーチェンジ。東稜#1や#13が粘り強いシュートを決めるも徐々に疲れが見え始め3Pが入らず。帝京は#12がゴール下のシュートやドライブレイアップで得点を重ね、一度は東稜に傾きかけた流れを再度帝京に持ってくる。最後まで足を使って守り続けた帝京が72-92で勝利を勝ち取った。

記載者 山口 尚之 (所属) 県南バスケットボール協会

## 令和3年度 福島県高等学校新人体育大会バスケットボール競技

男子決勝リーグ

クルーチーフ 羽 田 直 揮  
1stアンパイア 加 藤 淳 也  
2ndアンパイア 高 橋 智 大

福島南  
(県北)

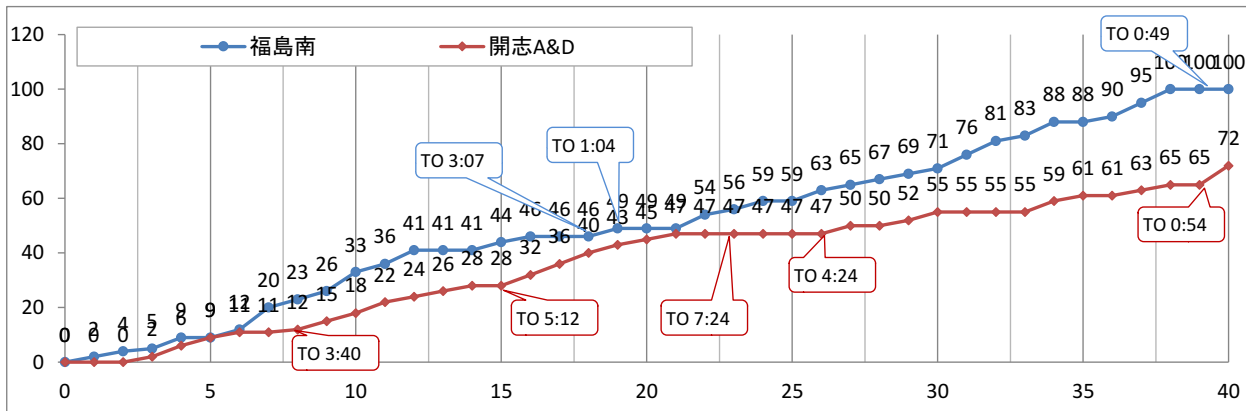
100  
○

33 - 18  
16 - 27  
22 - 10  
29 - 17  
-

72  
●

開志A&D  
(県南)

No. 4B2 日時: 2022年1月16日(日) 12:00 会場: 宝来屋郡山総合体育館



福島南

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 菅野 翼 (C)	17	0	8	1	1
5	* 深谷 ナナ	20	2	4	6	2
6	* 富田 滉	18	4	3	0	1
7	* 大内 愛翔	24	1	7	7	0
8	* 菅野 颯	14	1	5	1	1
9	大槻 翔空	3	1	0	0	1
10	佐藤 慶太郎	4	0	2	0	3
11	瓜生 達彰	0	0	0	0	0
12	渡邊 晃祐	0	0	0	0	1
13	栗原 絆	0	0	0	0	1
14	庄司 有汰	0	0	0	0	0
15	熊谷 颯太	0	0	0	0	0
コーチ 渡邊 拓也						
合計		100	9	29	15	11

開志A&D

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 長谷川 凜	16	0	7	2	3
5	* 岸 海凪	11	0	5	1	4
6	* 本間 大翔	11	0	4	3	3
7	* 山口 寛太 (C)	13	1	4	2	3
8	* 瀨山 祐矢	4	0	2	0	2
9	青田 一輝	0	0	0	0	1
10	池上 光貴	3	1	0	0	3
11	伊藤 将	0	0	0	0	0
12	早川 諒汰	-	-	-	-	0
13	伊藤 聖埜	-	-	-	-	0
14	伊東 陸翔	4	0	2	0	2
15	今野 颯	-	-	-	-	-
16	大野 隼翔 E	-	-	-	-	-
17	関 真貴人	5	1	1	0	0
18	鈴木 翼	5	1	1	0	1
コーチ 瀨尾 裕史						
合計		72	4	26	8	22

\*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

\*E...エントリー変更

### 戦 評

第1Q 両チームともにハーフコートマンツーマンでゲームスタート。立ち上がり福島南#4のドライブ, 対する開志は#6の得点でスタートする。お互いシュートが決まらず重たい立ち上がりとなったが, 福島南のディフェンスの強度が上がりブレイクから#6の3P, #7のプザービーターが決まり, 33-18で福島南がリードして1Q終了。

第2Q 福島南の#6の3Pでスタートする。開志は#4, #6の1対1から応戦するが福島南の#4のドライブや合わせにより点差が変わらず残り5分で開志がタイムアウト。ディフェンスが2-3ゾーンに変わり, 福島南の得点が止まってしまう49-45と開志が追いついて2Q終了。

第3Q 開志2-3ゾーン, 福島南ハーフコートマンツーマンでスタートする。福島南の#4, #8のミドルショット, #6の3Pが決まらなかった開志タイムアウト。その後も福島南のディフェンスからのブレイクで得点を重ねている間, 開志のシュートがリングに嫌われ残り4分で開志後半2回目のタイムアウトを要求するが流れが変わらず, 55-71で福島南がリードして3Q終了。

第4Q 福島南#7のミドルでスタートする。開志はオールコートマンツーマンで流れを変えようとするが福島南は#4のパスワークを中心にプレスブレイクし得点を重ね, 100-72で試合終了。福島南が決勝リーグ1つめの白星を勝ち取った。

記載者 菅野 達也 (所属) 県南バスケットボール協会

## 令和3年度 福島県高等学校新人体育大会バスケットボール競技

### 男子決勝リーグ

クーリーフ 香 野 学  
1stアンパイア 鶴 名 山 立  
2ndアンパイア 山 田 拓 也

開志A&D  
(県南)

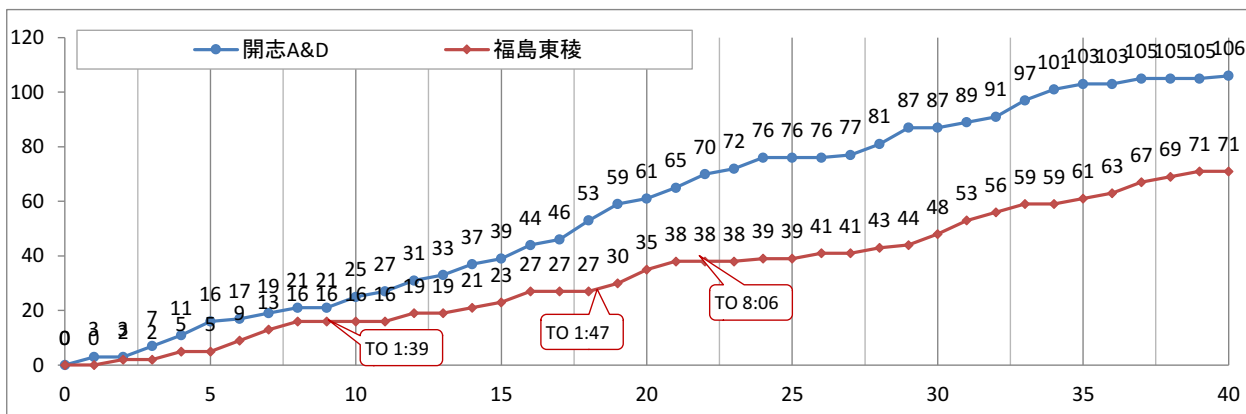
106  
○

25	—	16
36	—	19
26	—	13
19	—	23
—	—	—

71  
●

福島東陵  
(県北)

No. 4A4 日時: 2022年1月16日(日) 16:00 会場: 宝来屋郡山総合体育館



### 開志A&D

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 長谷川 凜	14	2	4	0	1
5	* 岸 海 凧	16	0	7	2	0
6	* 本間 大翔	14	0	6	2	1
7	* 山口 寛太 (C)	23	1	9	2	2
8	瀬山 祐矢	4	0	2	0	0
9	青田 一輝	3	0	1	1	1
10	池上 光貴	9	1	2	2	0
11	伊藤 将	8	0	4	0	1
12	早川 諒汰	0	0	0	0	0
13	伊藤 聖埜	1	0	0	1	3
14	伊東 陸翔	6	0	3	0	1
15	今野 颯	0	0	0	0	0
16	大野 隼翔 E	0	0	0	0	0
17	関 真貴人	0	0	0	0	0
18	* 鈴木 翼	8	0	4	0	0
コーチ	瀬尾 裕史					3
合計		106	4	42	10	13

### 福島東陵

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
1	* 佐藤 義宗 (C)	8	0	3	2	1
2	小原 智尋	-	-	-	-	-
5	五十嵐 太陽	-	-	-	-	-
8	青山 士道	6	0	2	2	1
11	佐藤 凌駕	0	0	0	0	0
13	佐藤 獅恩	14	2	3	2	1
15	* 名木 哲真	0	0	0	0	0
18	郡司 堅	11	3	1	0	5
22	井上 航大	-	-	-	-	-
23	岩本 隼祐	0	0	0	0	5
24	佐藤 亮輔	0	0	0	0	0
33	* 大石 葵也	24	4	5	2	3
55	* 椎名 隆人	0	0	0	0	1
75	* 石河 優平	8	0	4	0	3
88	猪狩 陽	-	-	-	-	-
コーチ	小田島 誠					0
合計		71	9	18	8	20

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

\*E…エントリー変更

### 戦評

第1Q 開志はオールコートマンツーマン、東陵は1-2-2ゾーンでスタート。開志は#4の3Pで先制。東陵は#1のドライブや#33の3Pで対抗するが、開志は#7のドライブや3Pを中心に内外バランスよく得点を重ね、開始5分15-7と開志がリード。東陵は残り1:39でタイムアウトをとり、流れを変えようとするが、流れは変わらず25-16と開志がリードして1Q終了。

第2Q 開始早々、開志は#6のドライブからのシュートが決まる。開志はその後オールコートゾーンプレスを仕掛け、東陵のミスを誘発。#6、#7を中心に速攻で得点を伸ばしていく。対する東陵はなかなか攻め手が見つからない。#75のゴール下や#18の3Pが決まるが、単発となり厳しい展開が続く。その後も東陵は流れをつかめず、残り1:47でタイムアウトをとる。その後、激しいディフェンスを仕掛けるが、オフンスリバウンドから着実に開志が得点を重ねる。東陵は#18、#33の3Pが決まるが単発で終わり、開志が61-35とリードを広げて前半終了。

第3Q 開志はハーフコートマンツーマン、東陵はゾーンでスタート。開始早々、東陵#5がシュートを決める。その後、東陵は#18の3Pで反撃するが、開志は激しいオールコートプレスを仕掛け、前半と同じように#6、#7の速攻、ドライブを中心にゴール下で連続して得点を挙げ、リードを広げていく。ここで東陵は残り8:06でタイムアウトをとり、激しいディフェンスから流れを変えようとするが、残り1:00で#23がファウルアウト。その後、東陵は#18がオフンスリバウンドをとり、バスケットカウントを決め意地を見せるが、開志が87-48とリードを広げて3Q終了。

第4Q 立ち上がり、東陵は#13、#33が3Pを決めるも、開志も激しいディフェンスからの速攻で#18、#11、#14が得点を重ねる。開志はベンチメンバーも得点を挙げ、層の厚さを見せつける。東陵もオールコートの激しいディフェンスから#13の速攻、#1のドライブで得点し、意地を見せるが、最後まで流れを渡さなかった開志が106-71で勝利を収めた。

© 2022 想田 匡 (所属) 県南バスケットボール協会

## 令和3年度 福島県高等学校新人体育大会バスケットボール競技

男子決勝リーグ

クルーチーフ 古川 利和  
1stアンパイア 熊坂 仁志  
2ndアンパイア 坂 高志

帝京安積  
(県南)

92

○

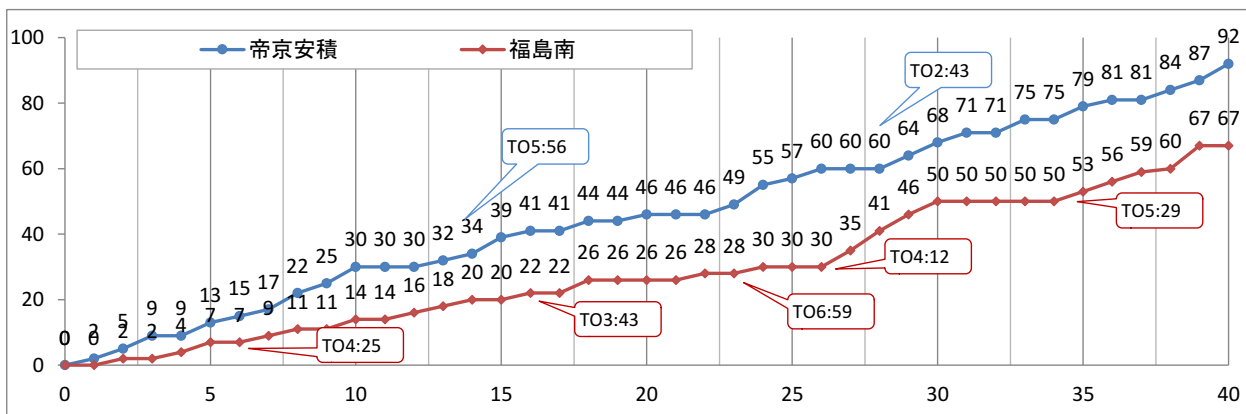
30	-	14
16	-	12
22	-	24
24	-	17
-		

67

●

福島南  
(県北)

No. 4B4 日時: 2022年1月16日(日) 16:00 会場: 宝来屋郡山総合体育館



帝京安積

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 相原 翔 (C)	14	4	1	0	3
5	* 田母神 陽大	14	0	5	4	2
6	* 緑川 知也	13	0	5	3	2
7	大栗 拓真	10	2	2	0	0
8	渡辺 一護	-	-	-	-	-
9	佐久間 桜寿	0	0	0	0	3
10	* 豊崎 理道	8	0	4	0	0
11	押山 悠大	-	-	-	-	-
12	早坂 玲二	18	1	7	1	2
13	安田 尚輝	-	-	-	-	-
14	* 菅野 陸	15	1	5	2	3
15	高木 怜生	-	-	-	-	-
16	今泉 裕都	-	-	-	-	-
17	白岩 優斗	-	-	-	-	-
18	鈴木 響	-	-	-	-	-
コーチ	榎田 英行					0
合計		92	8	29	10	15

福島南

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 菅野 翼 (C)	4	0	2	0	1
5	* 深谷 ナナ	6	0	2	2	0
6	* 富田 滉	26	6	3	2	3
7	* 大内 愛翔	14	1	5	1	2
8	* 菅野 颯	8	0	4	0	5
9	大槻 翔空	1	0	0	1	1
10	佐藤 慶太郎	8	1	2	1	2
11	瓜生 達彰	0	0	0	0	0
12	渡邊 晃祐	-	-	-	-	-
13	栗原 絆	-	-	-	-	-
14	庄司 有汰	-	-	-	-	-
15	熊谷 颯太	-	-	-	-	-
コーチ	渡邊 拓也					1
合計		67	8	18	7	15

\*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

\*E...エントリー変更

### 戦 評

第1Q 両チームともマンツーマンでスタート。帝京#10の2Pで先制し、その後も帝京#4の3Pが決まり、得点を重ねる。福島南は、#8がシュートを決め反撃を試みるもののシュートがなかなか入らず苦しい時間が続き、30-14、帝京が16点リードで1Qを終える。

第2Q 開始早々、福島南は2-2-1ゾーンプレスを仕掛け反撃を試みるが、帝京はそれに対応し#10、#5が得点を重ねる。しかし、福島南は粘り強いディフェンスを続けターンオーバーを誘発し、点差を12点に縮める。すかさず帝京はタイムアウトを請求。その後ゾーンディフェンスを攻略し、#7の3Pや#12のカットインで更に点差を20点に広げ46-26で前半終了。

第3Q 福島南は、オールコートマンツーマンでプレッシャーをかけるが、帝京が冷静にボールを展開し#4の3Pや#5のランニングプレーで点差を更に30点差に広げる。それでも福島南は、ディフェンスを緩めることなく、#6の4連続3Pで追撃し68-50で3Qを終える。

第4Q 帝京#12の力強いドライブからバスケットカウントで先制。更にディフェンスの強度を高め、ファーストブレイクで得点を重ねて点差を29点に広げる。しかし、福島南はそれでもゾーンプレスを続け、連続3Pで猛追を試みるが、帝京#14は冷静に試合をコントロールし92-67で試合終了。シュート力のある福島南に対し、それを上回るシュート力を発揮した帝京が勝利した。

| 記載者 | 岡田 妃加梨 (所属) 県南バスケットボール協会

## 令和3年度 福島県高等学校新人体育大会バスケットボール競技

男子決勝リーグ

クルーチーフ 植田 浩 司  
1stアンパイア 羽田 直 揮  
2ndアンパイア 鶴 名 山 立

福島東稜  
(県北)

50



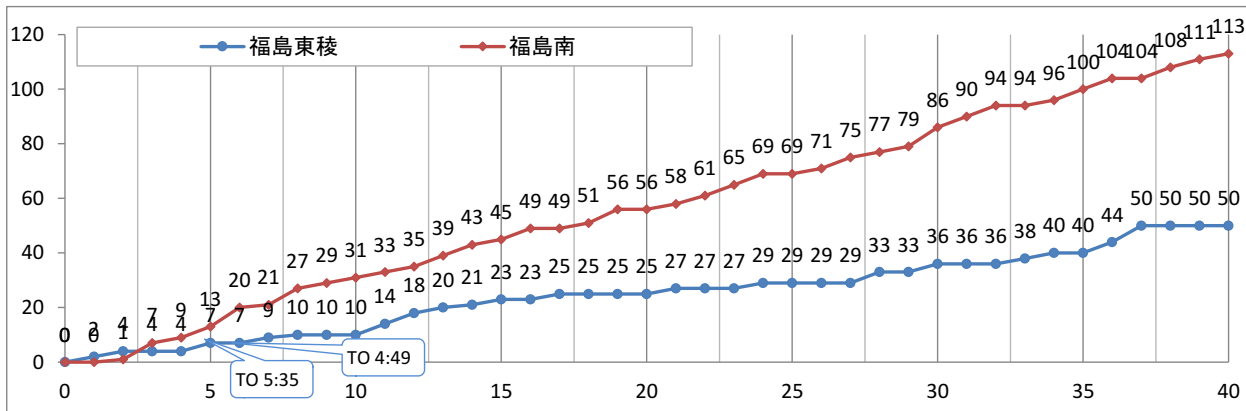
10	-	31
15	-	25
11	-	30
14	-	27
-		

113



福島南  
(県北)

No. 5A2    日時: 2022年1月17日(月) 12:00    会場: 宝来屋郡山総合体育館



福島東稜

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
1	* 佐藤 義宗 (C)	4	0	2	0	2
2	小原 智尋	-	-	-	-	-
5	五十嵐 太陽	-	-	-	-	-
8	青山 士道	0	0	0	0	1
11	佐藤 凌駕	0	0	0	0	0
13	佐藤 獅恩	4	0	2	0	2
15	* 名木 哲真	0	0	0	0	2
18	郡司 堅	15	0	7	1	2
22	井上 航大	-	-	-	-	-
23	岩本 隼祐	6	1	1	1	3
24	佐藤 亮輔	0	0	0	0	0
33	* 大石 葵也	10	1	2	3	2
55	* 椎名 隆人	2	0	1	0	4
75	* 石河 優平	9	0	4	1	2
88	猪狩 陽	-	-	-	-	-
コーチ	小田島 誠					0
合計		50	2	19	6	20

福島南

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 菅野 翼 (C)	21	1	9	0	0
5	* 深谷 ナナ	22	0	8	6	1
6	* 富田 滉	17	3	4	0	3
7	* 大内 愛翔	19	0	8	3	1
8	* 菅野 颯	11	0	5	1	1
9	大槻 翔空	4	0	2	0	2
10	佐藤 慶太郎	8	0	3	2	1
11	瓜生 達彰	4	0	2	0	1
12	渡邊 晃祐	1	0	0	1	0
13	栗原 絆	3	1	0	0	0
14	庄司 有汰	1	0	0	1	0
15	熊谷 颯太	2	0	1	0	0
コーチ	渡邊 拓也					0
合計		113	5	42	14	10

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

\*E…エントリー変更

### 戦 評

第1Q 開始早々、東稜は#33、#1の得点でリードを得る。対する南は1-2-2のショットインプレスで相手のミス誘い、速攻から次々と得点。5:35南が11-4とリードを広げたところで東稜がタイムアウト。タイムアウト明け、東稜#33が3Pを沈める。さらにディフェンスを頑張る、南のボール運びでミス誘うが、ここで南はすぐさまタイムアウト。その後、落ち着きを取り戻した南は着実にシュートを沈めてリードを広げていく。東稜は南のディフェンスの前に攻めあぐみ、なかなかシュートを決められない。31-10と南が大きなリードを得て、第1Q終了。

第2Q 立ち上がり、東稜は#75のゴール下、#18のドライブで得点し反撃に出る。しかし、南がディフェンスを引き締めるとターンオーバーが出てしまい、苦しい展開が続く。南はプレッシャーディフェンスからボールを奪うと、強烈なボールプッシュからシュートを沈めていく。ハーフコートオフェンスでも人とボールを動かし、中外バランスよく得点。小気味よいバスケットを展開していく。南がリードを広げ、56-25で前半終了。

第3Q 南が#6の3Pや#5のドライブなどでリードを広げていく。対する東稜は南の激しいディフェンスの前になかなか反撃の糸口を見いだせない。開始5分には69-29と40点の差が開く。南はベンチメンバーも得点を挙げ、さらにリードを広げていく。最後は南#6のプザービーター3Pも決まり、南86-36東稜で第3Q終了。

第4Q 東稜は果敢にドライブを仕掛けていくが、なかなか最後のシュートが決まらない。得点が伸びない東稜を尻目に、南はディフェンスリバウンドから速攻を連発。開始5分には100-41と得点を3桁に乗せる。最後まで手を緩めず、自分たちのバスケットを展開した南が113-50で勝利した。

| 記事者 | 橋本拓也 (所属) 県南バスケットボール協会

## 令和3年度 福島県高等学校新人体育大会バスケットボール競技

### 男子決勝リーグ

クルーチーフ 香 野 学  
1stアンパイア 古 川 利 和  
2ndアンパイア 加 藤 淳 也

開志A&D  
(県南)

86

○

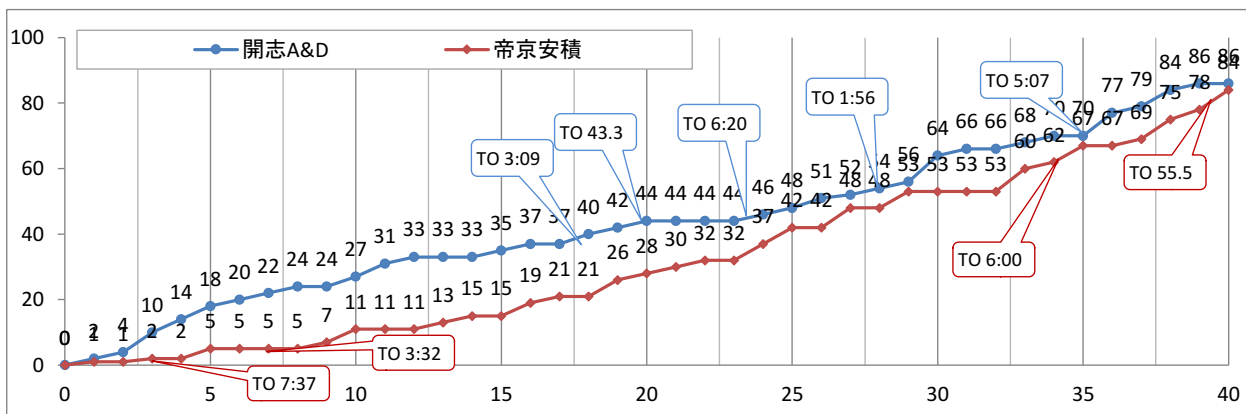
27	—	11
17	—	17
20	—	25
22	—	31
—	—	—

84

●

帝京安積  
(県南)

No. 5B2    日時: 2022年1月17日(月) 12:00    会場: 宝来屋郡山総合体育館



#### 開志A&D

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 長谷川 凜	10	1	3	1	1
5	* 岸 海 凪	12	0	6	0	2
6	* 本間 大翔	18	0	6	6	3
7	* 山口 寛太 (C)	28	4	8	0	4
8	瀬山 祐矢	2	0	1	0	0
9	青田 一輝	0	0	0	0	0
10	池上 光貴	0	0	0	0	3
11	伊藤 将	0	0	0	0	1
12	早川 諒汰	0	0	0	0	0
13	伊藤 聖埜	-	-	-	-	-
14	伊東 陸翔	0	0	0	0	0
15	今野 颯	-	-	-	-	-
16	大野 隼翔 E	-	-	-	-	-
17	関 真貴人	0	0	0	0	1
18	* 鈴木 翼	16	0	5	6	2
コーチ	瀬尾 裕史	/	/	/	/	0
合計		86	5	29	13	17

#### 帝京安積

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 相原 翔 (C)	12	2	2	2	3
5	* 田母神 陽大	8	0	4	0	5
6	* 緑川 知也	14	2	4	0	2
7	大栗 拓真	8	0	3	2	2
8	渡辺 一護	-	-	-	-	-
9	佐久間 桜寿	0	0	0	0	0
10	* 豊崎 理道	7	0	3	1	4
11	押山 悠大	-	-	-	-	-
12	早坂 玲二	23	3	6	2	3
13	安田 尚輝	-	-	-	-	-
14	* 菅野 陸	12	2	2	2	2
15	高木 怜生	-	-	-	-	-
16	今泉 裕都	-	-	-	-	-
17	白岩 優斗	-	-	-	-	-
18	鈴木 響	-	-	-	-	-
コーチ	榎田 英行	/	/	/	/	0
合計		84	9	24	9	21

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

\*E…エントリー変更

### 戦 評

Bコート男子決勝リーグ最終戦は、地区予選大会で勝利を収めている開志A&D高校と優勝に王手をかけた帝京安積高校との好カードの顔合わせとなった。

第1Q 両チームとも守備はマンツーマンでスタート。序盤で流れをつかんだのは開志。#7がドライブで先制すると、ファーストブレイクから#5がレイアップを決め、#4が3Pを冷静に沈め、帝京はたまたまタイムアウト。TO明け、帝京は#6のジャンパー、#5ドライブと応戦する。しかし、開志は激しいプレッシャーディフェンスから流れを逃がさない。帝京は2個目のTO使うも、開志の#18がジャンパー、#7の3Pのバスケットカウント決め、再び引き離す。最後は帝京も苦しい流れの中、#5がバスケットカウント、#6のアシストから#10がゴール下を沈め、開志27-11帝京で第1Q終了。

第2Q 開志の勢いは止まらず、#7のジャンパー、#18、#7の連続スティールで畳みかけリードを20点に広げる。帝京も#10の気迫のリバウンドからシュートをねじ込むと、#7が続けてドライブを決める。しかし、流れをつかみきることができない。残り5分開志オールコートプレスを仕掛け、再び引き離しにかかる。試合が動いたのは、残り3分。帝京#10の気持ちのこもったオフェンスリバウンドに触発され、#14のスティール、さらに#14のアシストから#12が沈め、連続得点。開志はTOを取り、リズムを変えたいが、帝京は#6の3P、#7のレイアップでさらに点差を縮める。開志は#6のドライブで応戦。開志44-28帝京で前半を折り返す。

第3Q 両チーム激しいディフェンスの攻防となる。先に流れをつかんだのは帝京。#5、#14が連続でジャンパーを決めると、帝京は4連続でオフェンスを成功させ、7点差まで迫る。開志はTO明け、#7のゴール下、#6のフリースローで応戦し、落ち着きを取り戻すが、帝京もすかさず#12が3Pを決め、一進一退の展開となる。残り4分、開志のドライブを帝京#6が渾身のブロック。その後、帝京は#12、#4が連続3Pを沈め、猛追をかけ、54-50と点差を4点とする。そこで開志はたまたまTO。TO明け、再び帝京#4が3Pを決めるが、開志#7がすぐさま3Pを決め返し、流れを譲らない。最後は開志#18が粘り強いドライブからファウルを誘い連続フリースローを獲得。開志がリードを11点に広げ、開志64-53帝京で第3Q終了。

第4Q 開志が#6のドライブで先制すると、帝京は#14の3P、#7がジャンパーと応戦。互いに点を取り合う展開となる。試合が動いたのは、残り5分。帝京#12が渾身の3Pを沈めると、#4が速攻でレイアップを決め、連続得点。72-67と点差を5点につめる。しかし、開志はTO明け、オールコートプレスをし、帝京のミス誘発。その間開志は#7が3P、#6がフローターをきっちり決め、リードを10点に広げる。残り1分、帝京は気迫のプレッシャーディフェンスで追撃を図り、#14の3Pで再び4点差に迫る。終了間際、#12がゴール下を沈め、さらに帝京#4がスティールからシュート狙うも、惜しくもリングから外れ、開志86-84帝京で試合終了。開志が勝利を手にした。最後まで目が離せないレベルの高い試合となった。最後まで精一杯戦った両チームを称えたい。

| 記者者 | 佐藤完太 (所属) 県南バスケットボール協会